

授業案（別添）

【学習計画（15時間）】

・コンピュータの操作を苦手としている生徒も多数いるので、HTMLやCSSを編集する時は補助員が多数つくことが望ましい。（13名の講座と12名の講座なので6名程度の補助員がつくと生徒2人に対して補助員1人となり手厚い補助ができる）

・HTMLやCSSについては生徒の学習状況を教員がオンライン上で確認できるシステムが必要である。

・授業サポートは以下の通りとする。

現地サポート4回×2コマ、遠隔サポート5回×2コマを行う。詳細は下表【主な学習活動と到達目標】に記載の通り。

・【webサイトの基礎学習】、【webサイトの制作】以外の内容についての授業サポートは高取国際高等学校と打合せを行い、原則遠隔で行うこと。ただし、すべての講座で講師等による授業の実施及び教師のサポートをする必要はない。

学期	単元及び内容のまとめ	主な学習活動と到達目標	時間数
2	オリエンテーション	Webサイトを制作する流れを学習する。 また、次回以降の授業で使用する学習ツールの使い方やログイン方法の確認を行う。	1
	Webサイトの基礎学習	Webサイトの基礎学習としてHTMLとCSSを学ぶ。 学習にはブラウザ上でHTMLとCSSを作成・実行できるオンライン学習ツールを用いる。 授業には6名程度の補助員が入り、生徒の学習のサポートを行う。（2回現地でのサポート、2回遠隔でのサポート） 授業後の課題として、本時の学習内容を復習できる課題を設ける。課題はオンライン学習ツール上で出題する。 課題は自動で採点され、満点を取れるまで繰り返し実施することができるようにする。また、評価のために学習の履歴は教員から確認できるようにする。	4
	Webサイトのテーマ・構成を考える	奈良の魅力を発信するためにWebサイトのテーマを考え、構成を学ぶ。 この際、候補を冊子にまとめたものを用意しておく。生徒は候補から選んでもよいし、自分で考えたテーマでもよい。 また、作成するWebサイトが、「誰に」「何を」伝えたいのかを明確にし、プロトタイプを考える。 プロトタイプの実成はワークシートを用いて行う。	1
	Webサイトの制作	前時で作成したプロトタイプを元にWebサイトを作成する。（主にHTML部分の編集） 授業には6名程度の補助員が入り、生徒の学習のサポートを行う。（1回現地でのサポート、2回遠隔でのサポート） 作成に当たっては、ブラウザ上でWebサイトを作成できるツールを用いる。このツールは生徒のBYOD端末からでも用いることができるようにする。 作成しているWebサイトは評価のために教員から確認できるようにする。	3
冬休み		冬休みの課題として、2学期中に制作しきれなかったところを完成させる。 このとき、Webサイトの基礎学習で用いたオンライン学習ツールで復習できるようにする。	
3	情報デザイン	Webサイトを作成するにあたって、見やすい配色やカラーバリエーションについて学ぶ。	1
	Webサイトの制作	2学期に作成したWebサイトの文字色や背景などの装飾を行う。（主にCSS部分の編集） 授業には6名程度の補助員が入り、生徒の学習のサポートを行う。（1回現地でのサポート、1回遠隔でのサポート）	2
	発表会準備	次回の授業で発表会を実施するための準備を行う。 企画や構成のブラッシュアップを行う。	1
	発表会	作成したWebサイトについて発表し、相互評価を行う。 また、作成したWebサイトは1月30日（金）の17時まで公開する。（検索エンジンには表示されず、URLを知っている人のみがアクセスできるようにする。）	2